

女子プロレス団体「スターダム」における 観客動員数の増加要因に関する研究

代表研究者 岡田 康太
岡山理科大学 経営学部 経営学科 講師

研究要旨

日本の女子プロレス団体「スターダム」は近年、顕著に観客動員数を増加させており、特に女子プロレス団体においては他の追随を許さない状況にある。安定した観客動員数を確保するためには、ファンを飽きさせない経営戦略の立案・実施は当然であるが、新規ファンを獲得するための経営戦略の立案・実施も重要であるため、ファンになった主な要因を把握することも重要である。そこで本研究では、スターダムのファンを対象としてインタビュー調査を実施し、その結果を分析することで、ファンになった主な要因を明らかにすることと、新規ファン獲得や更なる観客動員数増加のための経営戦略について検討することができると考え、これらを研究目的として設定した。分析の結果、スターダムのファンになった主な要因は「選手の魅力」と「ストーリー性」であることが明らかになった。また、新規ファン獲得や更なる観客動員数増加のための経営戦略については、「積極的なメディア出演」、「ファンとの直接的な交流機会の創出」、「チケットの価格設定とグッズの再検討」が挙げられた。「積極的なメディア出演」については、スターダム所属選手がテレビ番組（特にバラエティ番組）に出演して視聴者の目に触れる機会を増加させることで、認知度向上と新規ファン獲得の可能性を高めることができると推測する。「ファンとの直接的な交流機会の創出」については、試合会場で選手とファンが直接交流する機会を増加させることで、新規ファン獲得とファン度の深化の可能性を高めることができると推測する。「チケットの価格設定とグッズの再検討」については、ファンでない人でも購入しやすいチケット価格に設定することや、グッズの購入環境を整えること、ターゲットを明確にしたグッズを販売することで、新規ファン獲得とファン度の深化の可能性を高めることができると推測する。今後は、プロレス他団体だけでなく、他競技のファンにも調査を実施し、女性スポーツ人気の要因や今後の可能性について研究を続けていく予定である。